

## 市政運営方針

### 1 現状認識

#### (1) 長期化する新型コロナウイルス感染症

世界的に新型コロナウイルス感染症の猛威に直面し、社会や経済に加え、人々の行動や価値観までも大きく変化している。感染症の影響が長期化する中、市民の生命と健康、生活、事業や雇用を守り、新しい成長へとつなげていくためにも、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りつつ、感染症対策を最優先に取り組んでいく必要がある。

#### (2) 頻発・激甚化する自然災害

近年の気候変動の影響などにより、自然災害の頻発・激甚化が強まる中、久留米市においても大規模な浸水被害が発生している。度重なる水害での課題を踏まえながら、ハード・ソフト両面から総合的な対策を迅速かつ着実に進め、安心・安全な暮らしを実現することが急務となっている。

#### (3) 進行する人口減少社会

全国的な人口減少・少子高齢化が進行する中、久留米市においても、出生数の減少や福岡都市圏への人口流出など人口減少傾向が継続している。久留米市が今後も持続的に発展していくためには、一定の人口規模を維持していくとともに、将来的な人口減少を見据えたコンパクトな都市づくりや近隣自治体との一層の連携が不可欠である。

### 2 基本目標

久留米市が将来にわたって、住みやすく、生き活きと生活できる地域であり続けるために、雇用の場や社会基盤施設、安心・安全な生活、充実した子育て・教育環境、潤いと憩いのある生活など、高い都市機能を維持・強化し、県南の中核都市として持続的に発展する必要がある。

今後の市政運営においては、まちづくりの鍵を握る「人」を育て、支えることを大切にしながら、「街を伸ばし、暮らしを守る」取組を進め、専門職種で安定して暮らせる「安心・安全で活力にあふれた、誰もが生き活き生活・活躍できる共生のまち」を実現する。

### 3 基本方針

基本目標達成のために、「安心・安全のまち」「活力のあるまち」「生き活き生活できる、活躍できる共生のまち」の3つのまちづくりの視点と5つの重点施策を設定する。

## (1) 5大重点施策

### ①保健所の強化

市民の健康を守るため、感染症や災害時にも効果的・効率的に機能が発揮できる災害・健康危機管理の拠点機能や診療施設機能の強化など保健所の強化に取り組む。

### ②防災機能の強化

水害から市民の生命や財産を守るため、国・県と連携した貯留施設の整備や排水機場のポンプ増設、護岸のかさ上げなどの浸水対策を進め、防災機能の強化に取り組む。

### ③新産業団地の整備

地域経済を支える産業の集積と雇用の創出を進めるため、新産業団地の整備に取り組む。

### ④6次産業の推進

久留米市の基幹産業である農業の活性化を図るため、付加価値の高い農産物の加工・販売、農業体験や農家民泊の支援など6次産業の推進に取り組む。

### ⑤人材の発掘・育成

次世代の志や夢、希望をかなえるため、スポーツや文化・芸術、教育、農商工など様々な分野において、まちづくりの鍵となる担い手の育成と発掘、環境整備に取り組む。

## (2) 基本方針に基づく主な取組

### ①安心・安全のまち

新型コロナウイルス感染症や度重なる浸水被害から市民の生命・健康・財産等を守ることを最優先に、安心して安全に暮らせるまちづくりを進める。

#### ○保健医療機能・体制の充実

- ・災害・健康危機管理の拠点機能や診療施設機能に着目した保健所の強化
- ・ワクチン接種やPCR検査体制の確保と拡充
- ・相談体制の充実や関係機関・団体との連携強化、人材の育成、普及啓発によるこころの健康づくりなどを通じた自殺予防対策の推進

#### ○総合的な危機管理の強化

- ・流域治水推進プロジェクトの設置、貯留施設等の整備による防災機能の強化、筑後川流域全体で水害を軽減させる流域治水の推進
- ・地域防災計画の見直し、避難所を含む避難環境の整備、自主防災組織を中核とした地域防災力の強化

#### ○暮らしの安全対策の推進

- ・セーフコミュニティの推進、暴力団追放運動の推進

○快適な都市環境の確保

- ・道路や上下水道など社会基盤施設の計画的な維持管理や長寿命化

○脱炭素・循環型社会の構築

- ・徹底した省エネルギーと再生可能エネルギーの最大限の導入などによる脱炭素・循環型社会の構築

## ②活力のあるまち

新型コロナウイルス感染症の影響で傷んだ地域経済を振興するとともに、生活の基礎となる雇用の場を確保し、活力あふれるまちづくりを進める。

○多様な地域産業の創出と振興

- ・コロナ禍の状況を踏まえた経営力強化や事業継続の支援
- ・新産業団地の整備や企業誘致による雇用創出
- ・バイオ産業をはじめとした成長産業や地場企業の育成・支援

○魅力ある農業の振興

- ・将来の担い手確保・育成や経営力強化の支援
- ・スマート農業など生産効率化の推進
- ・農業経営の多角化や農産物の高付加価値化など6次産業化の支援

○観光の振興、MICE 誘致の推進

- ・ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた久留米シティプラザの活用によるMICE 誘致やイベントの開催、マイクロツーリズムの推進

○ネットワーク型のコンパクトな都市の形成

- ・幹線道路の整備・見直しや公共交通の維持・利便性向上
- ・鉄道駅を核とした中心市街地再整備や居住環境整備

○集い、楽しむ、水と緑の空間の創出

- ・公園施設の整備・更新、まちなかの緑化促進

## ③生き生き生活できる、活躍できる共生のまち

子育て支援をはじめ、教育・介護・福祉などが充実し、女性・子ども・高齢者・障害者・外国人、同和問題など、すべての人の人権が守られた、誰もが生き生きと生活ができ、活躍できる共生のまちづくりを進める。

○安心して産み、育てられる子育て・教育環境の充実

- ・質の高い授業づくりによる学力の保障と向上、教育 I C T の推進や老朽化した学校施設の改修、学校規模の適正化、教職員の働き方改革などによる教育環境の充実、不登校・いじめ問題等への対応
- ・保育士人材確保などによる待機児童の解消、子ども食堂やひとり親家庭の支援による子どもの貧困対策、児童虐待防止対策の強化

○スポーツ、文化、芸術の振興

- ・久留米シティプラザや久留米アリーナなどの活用による文化・芸術やスポーツを楽しむことができる機会の創出
- ・ジュニア世代のアスリート、文化・芸術を担う人材の発掘・育成・支援

○人権擁護と男女共同参画の推進

- ・人権教育・啓発の充実や男女共同参画社会づくり

○市民活動・地域コミュニティ活動の活性化

- ・市民活動団体や校区コミュニティ組織等への活動支援
- ・地域コミュニティ活動の担い手育成

○高齢者、障害者、貧困対策など福祉の充実

- ・地域共生社会の実現に向けた重層的支援

#### 4 まちづくりの推進に向けて

地方自治体を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中、社会情勢の変化を見極めながら対応していく必要がある。持続可能な都市づくりに向けて、市民や議会の協力を得ながら、国・県及び近隣自治体との連携をより強化し、効率的な行財政運営に努めていく。

##### (1) 市民・議会・行政の協働

多様で複雑化する市民ニーズへのきめ細かな対応には、課題の把握から取組の具現化、実施に至るまで、市民・議会の協力が不可欠である。相互の信頼関係を構築しながら、市民・議会・行政が一体となった協働のまちづくりを進める。

##### (2) 効率的な行財政の運営

厳しさを増す財政環境や高度化する地域課題に対応するため、I C T 技術を活用した事務の効率化や公共施設管理の最適化をはじめとした行財政改革などに取り組むとともに、組織機能の見直し、職員の育成や適材適所の配置による組織力強化に努め、効率的な行財政の運営を図る。

##### (3) 国・県や近隣自治体との連携

浸水対策における流域治水をはじめ、久留米市だけでは解決できない課題に対応するため、国・県と連携した取組の推進や近隣自治体との連携強化をより一層進める。